

所報

題字: 武田満之校長(平成9年、野幌中学校)

第139号 平成30年6月20日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町24-6 TEL 381-1058

(主な内容)

・平成30年度教職員夏期セミナー宣伝特集

夏期セミナー宣伝特集

前期前半も残り1カ月ほどとなりました。教育上の様々な良い兆しが確かな手応えとなり始める時期を迎えていると思います。

江別市教育研究所では、7月27日(金)から始まる教職員夏期セミナーの内容が江別市小中学校の先生たちの疑問や興味、求めているものに少しでも近づくよう努力しているところです。

小中学校の先生たちに多数参加してほしいとの思いから、今号は講座選択の判断材料を提供する特集を組みました。是非、講座選びの参考にしてほしいと思います。

7月27日(金) 9:30~12:00 市民会館21号室

①「今日的な教育課題」～最新の教育の動向と対応～

講師: 北海道立教育研究所 企画・研修部 竹内研究主幹

【解説】開会式の教育長挨拶から引き続き行われる毎年恒例の道研の講座です。「固いのや難しいのは嫌」という人には少し堅苦しいかもしれませんが、**今学校が何を考え、何を取り組んでいかなければならないか**がきちんと分かります。**校長・教頭・主幹教諭・ミドルリーダー等を中心に複数の参加を期待します。**

7月27日(金) 13:30~16:00 市民会館21号室

②「情報モラル教育」～ ネット利用と子どもたちの望ましい生活習慣について～

子どもの心とからだを育てるために大切なこと

講師: 子どもとメディア北海道 中谷事務局長

【解説】昨年も同講座を実施。**変化の激しい高度情報化社会に生きている子どもたちの健やかな成長のために考えなければならないこと、守っていかなければならないこと、学校としての取組などについて考えていきます。**生徒指導担当者を中心に**複数の参加を期待します。**

7月30日(月) 9:30~12:00 野幌中学校 コンピュータ室

③「ICTの日常実践」～ さわってみよう ICT～

講師: 江別第一小学校 山口主幹教諭 実践発表: 野幌中学校 横山教諭 小林教諭

【解説】「講義を聴くよりも活動する方が好き」という人向きです。**ICTを気軽に活用すること**を念頭に、第一小と野中の先生たちが優しく教えます。**ICT機器をある程度使えることは時代の要請**です。機器の関係で、希望者殺到すると抽選となります。

7月30日(月) 13:30~16:00 フィールドワーク・バス移動

④「市内巡り」

講師: 文京台小学校 松本教諭 江別第二小学校 一條教諭

【解説】「**市内の特徴的な所や施設などを見学**し、江別市の良さを改めて実感し、授業にも生かそう」ということで、これも「講義よりも活動」派向き。**13時20分市役所P集合厳守!**月曜で休館が多い中、一條先生が知恵を絞って見学先を検討中です。バスの関係で希望者殺到すると抽選となります。

7月31日(火) 9:30~12:00 文京台小学校 理科室・体育館

⑤「体力向上研修」～ 朝運動プログラムについての内容と実技 ～

講師：北翔大学 増山教授 石井研究員

【解説】昨年も同講座を実施。10年近くも北翔大が文京台小学校の子どもたちと実践し積み上げてきた体力向上の取組について前半説明し、後半は体育館で「朝運動プログラム」メニューを実際に体験します。運動できる服装で運動靴を持参してください。

7月31日(火) 13:30~16:00 文京台小学校 理科室・体育館

⑥「走り方指導」～ 児童生徒への走り方指導の在り方 ～

講師：北翔大学 大宮准教授

【解説】昨年も同講座を実施。かつて100mを10秒台で走り抜いた陸上専門の大宮先生が自らの経験と研究を基に、前半は走り方指導のノウハウを説明し、後半は体育館で実際に体験していきます。運動できる服装で運動靴を持参してください。

8月1日(水) 9:30~12:00 野幌公民館 ホール

⑦「チーム学校」～ SSWの効果的な活用について ～

講師：札幌学院大学 横山教授

【解説】スクール・ソーシャル・ワーカーを上手に活用することが、直面する問題や課題を「チーム学校」として組織的に解決していくことにつながります。児童相談所や病院、警察など専門機関との連携の在り方や組織マネジメントなどについて理解を深めます。校長・教頭・特別支援コーディネーター・養護教諭・生徒指導担当者を中心に多数の参加を期待します。

8月1日(水) 13:30~16:00 野幌公民館 ホール

⑧「アイヌ民族の歴史と文化」～ 教科書と副教材の内容に即して ～

講師：北海道博物館 小川アイヌ民族文化研究センター長

【解説】今、学校教育ではアイヌ民族の歴史や文化について積極的に、しかも正しく取り上げていくことが求められています。しかし実際に教える側にとっては、必要な教材、正しい情報、様々な情報に対する判断の仕方など多くの疑問や課題も抱えています。これらの解消に向け、江別市の小中学校で使用されている教科書などを基に考えを深めていきます。多数の参加を期待します。

8月2日(木) 9:30~12:00 市民会館 第37号室

⑨「小学校外国語教育」～ 移行期だからこそ、考えるべきこと ～

講師：北海道教育大学釧路校 堀田准教授

【解説】再来年4月から、小学校5・6年では年間70時間の外国語科を指導して評価することになります。また、3・4年では年間35時間の外国語活動を実施することになります。それに向けて円滑に移行していくには、今年と来年の各小学校の取組が大変重要になります。小学校外国語教育指導連絡協議会の委員の皆さんを中心に複数の参加を期待します。

8月2日(木) 13:30~16:00 北海道立教育研究所附属理科教育センター

⑩「理科実験講座」～ 科学的に問題を解決するための観察、実験の在り方 ～

講師：道研附属理科教育センター 飯嶋研究研修主事

【解説】理科教育の充実が叫ばれて久しいですが、理科好きの子どもたちを育てるには、教職員自らが理科好きになることです。理科実験の楽しさを心行くまで味わってください。これも「活動派」向きの講座です。実験用具等の関係で希望者殺到すると抽選となります。

夏期セミナーの申込は7月12日(木)締切です。一人最低1講座以上の申込をどうぞ宜しくお願いいたします。